第4学年　国語科学習指導案

日　時　7月11日（金）6校時

対　象　4年2組　３2名

授業者　葛西　航

１　単元名　「場面を比べて読み，心にのこったことを伝え合おう」

　　　　　　「一つの花」今西祐行（光村図書　四年上）

２　本時のテーマ　　対話しながら課題を見付け追究しようとする学びっぷり

３　本時の授業

(１)目標

　これまでの読書経験をもとに友達と話し合う活動を通して,自分や友達が物語文を読んで感じたことや疑問に思ったことの良さや違いに気付き，追究するべき問いを設定することができる。

(２)展開　　３/７

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・教師の働きかけ　　◎評価　　☆支援 |
| １　前時の学習内容を確認する。  **１～２→青　３～５→緑**  **６～８→黄　９～10→赤**  ２　本時のめあてを確認する。  **お話を読んで考えたい「問い」をつくろう。**う。う。  ３　選択したわけを話し，各々の読みのずれを確認し合う。  　・お父さんとお母さんのゆみ子への思いが分かって，感動した。  　・戦争の話は悲しくて，あまり好きではない。  ・お父さんが帰ってこなかったようなのに，ゆみ子たちが楽しそうに暮らしていることに納得がいかない。  ４　友達とグループを作って話し合い，問いづくりの場を設定する。  ５　話合いから生まれた問いを全体で出し合い，どのような問いを追究していくかを話し合う。  　・なぜお父さんは最後に，ゆみ子に「一つだけ」のコスモスをあげたのだろう。  　・なぜ筆者は題名を｢一つの花｣にしたのだろう。  　・「お肉とお魚どっちがいいの。」という会話文にはどんな意味があるのだろう。  　・この物語はハッピーエンドなのだろうか。  ６　本時の学習を振り返る。  **自分が考えてみたいと思った問いは（　　）です。わけは（　　　　）だからです。** | ・「読みログ」（通年の読書記録）をもとに，教材文に感じた「おもしろさ」を10段階評価し，色分けして表したものを一覧表示する。  ・「読みログ」における「おもしろさ」の定義を確認する。  **物語文の「おもしろさ」＝「心が動いた」**  →楽しい，笑えた，のような明るい気持ちだけでなく，感動した，切なくなった，のように，読んでいて気持ちが引き付けられたこと。  ◎自分の読書記録をもとに本文のおもしろさや疑問に思う点を見付け，わけを話すことができている。　　【思・判・表】ワークシート，発言  ・友達との感じ方の違いや物語を読んで感じた疑問から問いをつくる。  ☆問いをつくる時の観点（登場人物の視点，作者の視点，５W１Hなど）をヒントとして示す。  ☆グループ活動の中で発言やつぶやきを拾い上げ，「問い」へとつながるよう支援する。  ・一人ひとりの文章に対して感じたおもしろさに触れ，そのずれに気付かせながら問いを考えていけるようにする。  ・問いを考えた児童が想定している「答え」がある場合は発表させ，友達の意見を聞く。  ◎友達との対話を基に，感じたことや疑問に思ったことを問いに表し追究しようとしている。  【思・判・表】ノート，発言 |